

細倉鉾山とともに

1995	1955	1953	1952	1951	1950	1949	1943	1942	1942	1941	1918
「くりはら田園鉄道」に社名変更。	「栗原電鉄」に社名変更。	荒町駅開業。	駒場駅(後の鶯沢工業高校前駅)開業。	田町駅開業。	全線電化。	戦時中に譲渡したバス事業の路線・営業を譲り受け、事業再開。	バス事業を陸前乗合自動車に譲渡。	岩ヶ崎〜細倉鉾山間延伸。 尾松駅、鶯沢駅、細倉駅、細倉鉾山駅開業。	地方鉄道法による「鉄道」に変更。 石越〜若柳間のルート変更により荒町駅廃止。	「栗原鉄道」に社名変更。	「栗原軌道」発足。

細倉鉾山への延伸

軌道から鉄道へ

1941年12月3日、石越から岩ヶ崎(後の栗駒)間の軌道から鉄道への変更認可を得て、翌年8月20日から鉄道運輸を開始しました。軌道とは、通常の道路に線路を敷設して運行するシステムで、当時は列車長が最大90インチ(約22.5m)に、最高時速が12マイル(約19km)に制限されていました。一方鉄道とは、専用のレールがあり、高速かつ大量輸送するシステムです。この切り替えにより、旅客と貨物の輸送数量は軌道時代に比べて伸びています。

細倉鉾山とは？

栗原市西部にある鉾山で、江戸時代から開発されてきた長い歴史があります。主に亜鉛と鉛が産出されるため、2度の大戦では需要が高まり、栗原鉄道時代の1940年代は三菱鉾業株式会社のもとで驚異的な発展を遂げました。細倉鉾山の発展と衰退は、くりでんの歴史の中で、その都度大きな影響を及ぼしています。



延伸の背景と延伸後の成果

細倉鉾山への延伸には、戦時中だった当時の社会情勢が深く関わっています。1943年3月5日付の『地方鉄道補助許可申請書』には、「細倉工業所生産の軍需必須物の輸送がこの鉄道の生命とも称すべきもの」と記されており、栗原鉄道が戦時中の輸送手段として重要視されていた鉄道であることが分かります。当時の車票をしてみると、細倉鉾山の鉾物は県内であれば石巻へ、県外であれば釜石(岩手県)や羽前水沢(山形県)や君津(千葉県)など遠方地域へ輸送されていたようです。このように細倉鉾山への延伸が実現したことで、鉾物の輸送を栗原鉄道が支えるようになりました。また若柳駅への輸送物には、セメントや肥料などの物資があり、それらの出発地点は新潟県や岐阜県、ひいては愛媛県といった遠方の地域からのものも見られました。このように栗原鉄道は、当時の人々の生活を支える輸送手段として重要なものだったのです。



細倉鉾山から福島県磐梯町へ硫化鉾を運ぶための車票

電化

電化とは

鉄道の動力を電気にすることです。栗原鉄道は蒸気機関からの切り替えとなり、これは東北本線よりも早いものでした。

電化の背景

電化に踏み切った理由は、蒸気機関の動力である石炭の高騰でした。当時、細倉鉱山の増産と林産物の出荷増が見込まれていたため、運転費の削減は必要だったのです。当初はディーゼル機関車を導入する予定でしたが、融資を受けられずに計画がとん挫したため、その代案として検討されました。

動力の変更は同時に車両の変更も意味しており、新たに電気機関車ED18形と電動客車モハ2400形・サハ1400形を新造して運用を始めました。



電化工事の様子



電化起工式に関する書類

電化起工式は1950年10月1日、若柳小学校講堂にて実施され、従業員196名、役員、株主が参加しました。



電化記念の列車
モハ2401車両

絶縁抵抗計・接地抵抗測定器

回路の絶縁と線路に流れた電流の抵抗を測り、漏電を起こしていないか確認するために使われました。



車両絶縁抵抗測定表

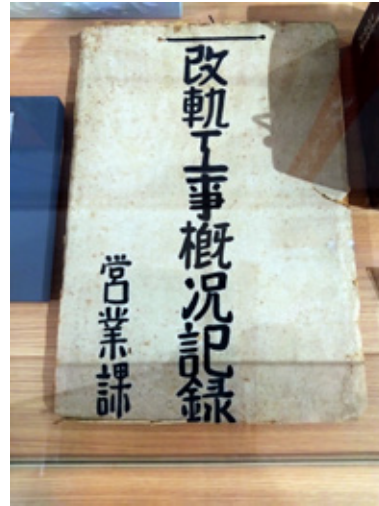
改軌

改軌とは

鉄道の線路の幅(軌間)を変えることを指します。栗原鉄道では、軌間762mmから東北本線と同じ1067mmへと広げました。これは、石越駅で貨車の荷物積み替えをスムーズにするためでした。そのため、軌間を広げる工事と新たな車両の購入、既存車両の改造が必要となりました。



赤坂山での切り崩し作業の様子(トンネルが旧線)



改軌工事概況記録

1954年12月から1955年10月にかけての工事概要が記録されています。

改軌工事では、単に線路幅を広げるだけでなく、橋桁の溶接補強や秋法隧道(トンネル)の側溝工事なども行われました。特に大きな変化として、尾松駅近くの赤坂山では、旧線の隧道を放棄し、山を切り開いて新道を作る工事が行われました。

祝 改軌竣工 (パンフレット)

改軌を記念して作成されたものです。表面には会社概要と鉄道及自動車路線図が、裏面には改軌後の鉄道や線路の様子の写真が載っています。



次回予告

グローバル時代のローカル鉄道

【くりでんミュージアムへの問い合わせ】

TEL:0228-24-7961

FAX:0228-24-7962

メールアドレス:info@kuridenpark.com